

第30期（2014年12月期） 第1四半期
決算補足説明資料

2014年5月7日
サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

略式記号について

13.3/4Q

2013年 3 月期 第4四半期期間

13.12

2013年 12 月期 通期

14.12/1Q

2014年 12 月期 第1四半期期間

14.12E/2Q累計

2014年 12 月期 第2四半期累計期間予想

14.12E

2014年 12 月期 通期予想

調整後13.12/1Q

2013年 12 月期を12ヶ月に調整した第1四半期期間

調整後13.12/2Q累計

2013年 12 月期を12ヶ月に調整した第2四半期累計期間

調整後13.12

2013年 12 月期を12ヶ月に調整した通期

※ 「調整後13.12」については6ページ及び23ページに注記しております

※ 「13.3/4Q」とは3月決算だったサイバネットシステムは2013年1月～3月、12月決算の海外子会社は2012年10月～12月が連結対象期間となります。

目次

◆ 2014年12月期 第1四半期決算の概況

[連結]業績の概況	7
[連結]経常利益の増減要因(調整後前期比較)	8
[連結]貸借対照表	9
[連結]キャッシュ・フロー	10
[連結]四半期売上高の推移	11
[連結]事業別売上高の増減要因(調整後前期比較)	12
[連結]事業別経常利益の増減要因(調整後前期比較)	13
[個別]ソリューション別の概況	14
[個別]応用分野別売上高	15
[個別]業種別類売上高	16
[個別]ライセンス契約別売上高	17
海外子会社の状況	18

◆ 中期経営戦略及び2014年12月期 業績予想

中期経営戦略	20
[連結]14.12Eの業績予想	24
[連結]14.12Eの配当予想	25

◆ 参考資料

個別業績及び予想等を記載しております

2014年12月期 第1四半期 決算の概況

2013年度より決算期を3月から12月に変更しております

経過期間となる2013年度決算連結対象

- 3月決算のサイバネットシステム（個別） : 2013年4月～12月
- 12月決算の海外子会社 : 2013年1月～12月

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

連結対象子会社の範囲について

CYBERNET

当期より、海外販売子会社のCYBERNET SYSTEMS KOREA CO.,LTD.を連結対象としております。

正式社名	:사이버넷시스템즈코리아(주) (サイバネットシステム코리아株式会社)
本社所在地	:大韓民国 ソウル特別市
設立年月	:2012年3月
代表者	:CEO & President 古井 佐土志
従業員	:7名(2014年3月31日現在)
事業内容	:CAEソフトウェアの販売、技術サポート及び 受託解析・コンサルティング等のエンジニアリング サービスの提供
主力製品	:制御系システム(MapleSim) その他

※他の連結対象子会社につきましては、27ページをご参照ください。

決算期(事業年度の末日)の変更について

- ◆ 本資料内の調整後13.12/1Qとは、14.12/1Q実績に対して、同じ条件で比較を行うため、比較対象期間を同じ期間に置き換えて算出した数値となります。

■ 13.12/1Q(2013年12月期)

サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社

2013年 1~3月	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月
1Q	1Q	2Q	3Q
1Q	2Q	3Q	

■ 調整後13.12/1Q

サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社

2013年 1~3月	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月
1Q	2Q	3Q	4Q
1Q	2Q	3Q	4Q



比較対象期間が同じ

■ 14.12/1Q(2014年12月期)

サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社

2014年 1~3月	2014年 4~6月	2014年 7~9月	2014年 10~12月
1Q	2Q	3Q	4Q
1Q	2Q	3Q	4Q

[連結]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12/1Q 実績	13.3/4Q 実績	前同差	調整後 13.12/1Q	前同差	前同比	14.12/1Q 計画	計画差	計画比
売上高	3,880	3,615	+265	3,391	+488	114.4%	3,766	+114	103.0%
売上総利益	1,553	1,595	▲42	1,394	+159	111.4%	1,660	▲107	93.5%
営業利益	109	351	▲241	135	▲26	80.7%	169	▲59	64.6%
営業利益率	2.8%	9.7%	▲6.9P	4.0%	▲1.2P		4.5%	▲1.7P	
経常利益	178	428	▲249	217	▲38	82.4%	193	▲15	92.2%
経常利益率	4.6%	11.8%	▲7.2P	6.4%	▲1.8P		5.2%	▲0.5P	
当期純利益	63	289	▲225	111	▲48	56.6%	75	▲11	84.4%
当期純利益率	1.6%	8.0%	▲6.4P	3.3%	▲1.7P		2.0%	▲0.4P	

※P:ポイント

※季節要因を考慮するために、13.3/4Q（2013年1月～3月）の開示数値を記載しております。

13.3/4Q実績は、3月決算であったサイバネットシステムは2013年1月～3月、12月決算の海外子会社は2012年10月～12月を連結対象期間とした数値となります。

※調整後13.12/1Qは、比較対象期間を合わせるため、海外子会社の対象期間を2013年1月～3月に調整した数値となります。（前頁参照）

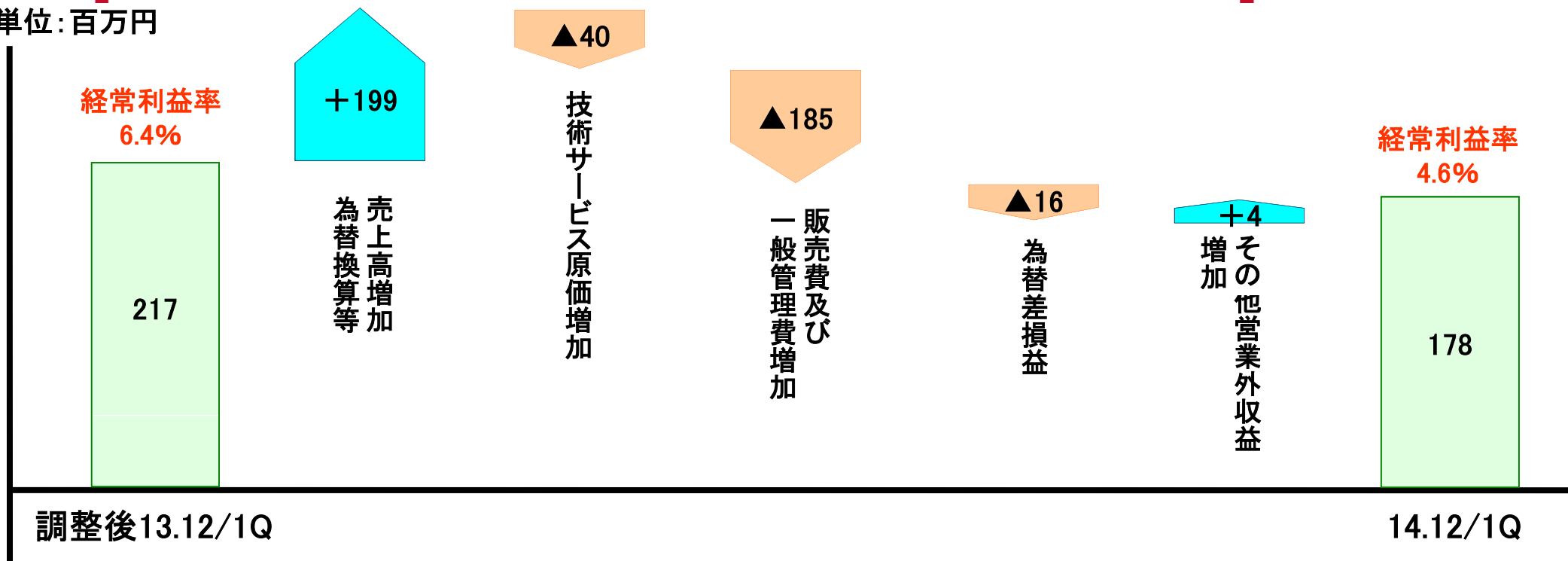
◆ 業績の概況

調整後13.12/1Qと比較すると、当第1四半期連結期間の業績については、汎用可視化処理関連ビジネスにおいて、教育機関から新規大型案件を受注したことに加え、主力の構造解析系ソフトウェアを中心に自動車業界や機械製造業での新規ライセンス販売が好調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。海外子会社においても、北米の開発会社を中心に好調に推移し、円安基調による為替換算の影響もあったことから、売上高は前年同期を上回りました。しかし、大型案件の原価率が高かったこと及び海外子会社において人員の採用が進んだことによる費用増加があったこと等により、経常利益は前年同期を下回りました。

[連結] 経常利益の増減要因(調整後前期比較)

CYBERNET

単位: 百万円



◆ 経常利益の前期比増減要因

商品利益は、主に北米の海外子会社の売上高増加及び円安による為替換算の影響もあり増加しましたが、営業利益においては、海外子会社の人件費の増加及び為替換算による増加もあり、前同差26百万円の減益となっております。

経常利益は、為替差損益の営業外収益が減少したことにより、前同差38百万円の減益となっております。

[連結] 貸借対照表

CYBERNET

(単位:百万円)

	13.12	14.3	前期末差
流動資産	14,049	13,265	▲ 783
現金及び預金	4,040	3,117	▲ 923
受取手形及び売掛金	3,225	3,598	372
有価証券	2,302	2,200	▲ 102
短期貸付金	3,081	2,979	▲ 101
その他	1,400	1,370	▲ 29
固定資産	5,007	5,404	396
有形固定資産	332	364	31
無形固定資産	3,617	3,353	▲ 263
投資その他の資産	1,057	1,686	628
資産合計	19,056	18,670	▲ 386
流動負債	4,397	4,391	▲ 5
買掛金	971	1,571	599
未払費用	926	476	▲ 449
前受金	1,891	1,824	▲ 67
賞与引当金	298	147	▲ 150
その他	309	371	61
固定負債	834	857	22
退職給付に係る負債	802	825	22
その他	31	31	0
負債合計	5,231	5,248	17
純資産合計	13,825	13,421	▲ 403
負債純資産合計	19,056	18,670	▲ 386

主な増減要因

- ① ①現金及び預金（前期末差 ▲923百万円）
投資有価証券（前期末差+612百万円）
社債の購入により投資有価証券が増加。
それに伴って現金及び預金が減少しております。
- ② ②のれん（前期末差▲258百万円）
償却▲91百万円及び為替換算▲166百万円により
減少しております。
- ③ ③純資産合計（前期末差▲403百万円）
剰余金の配当▲164百万円
為替換算調整勘定の減少（▲171百万円）
により、減少しております。

[連結] キャッシュ・フロー

CYBERNET

(単位: 百万円)

	14.12/1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	98
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 933
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 161
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 37
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,033
現金及び現金同等物の期首残高	4,042
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	15
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,024

◆ 主な増減要因

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
主に仕入債務の増加により、プラスとなっております。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
主に資金運用による投資有価証券の取得により、マイナスとなっております。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払額により、マイナスとなっております。

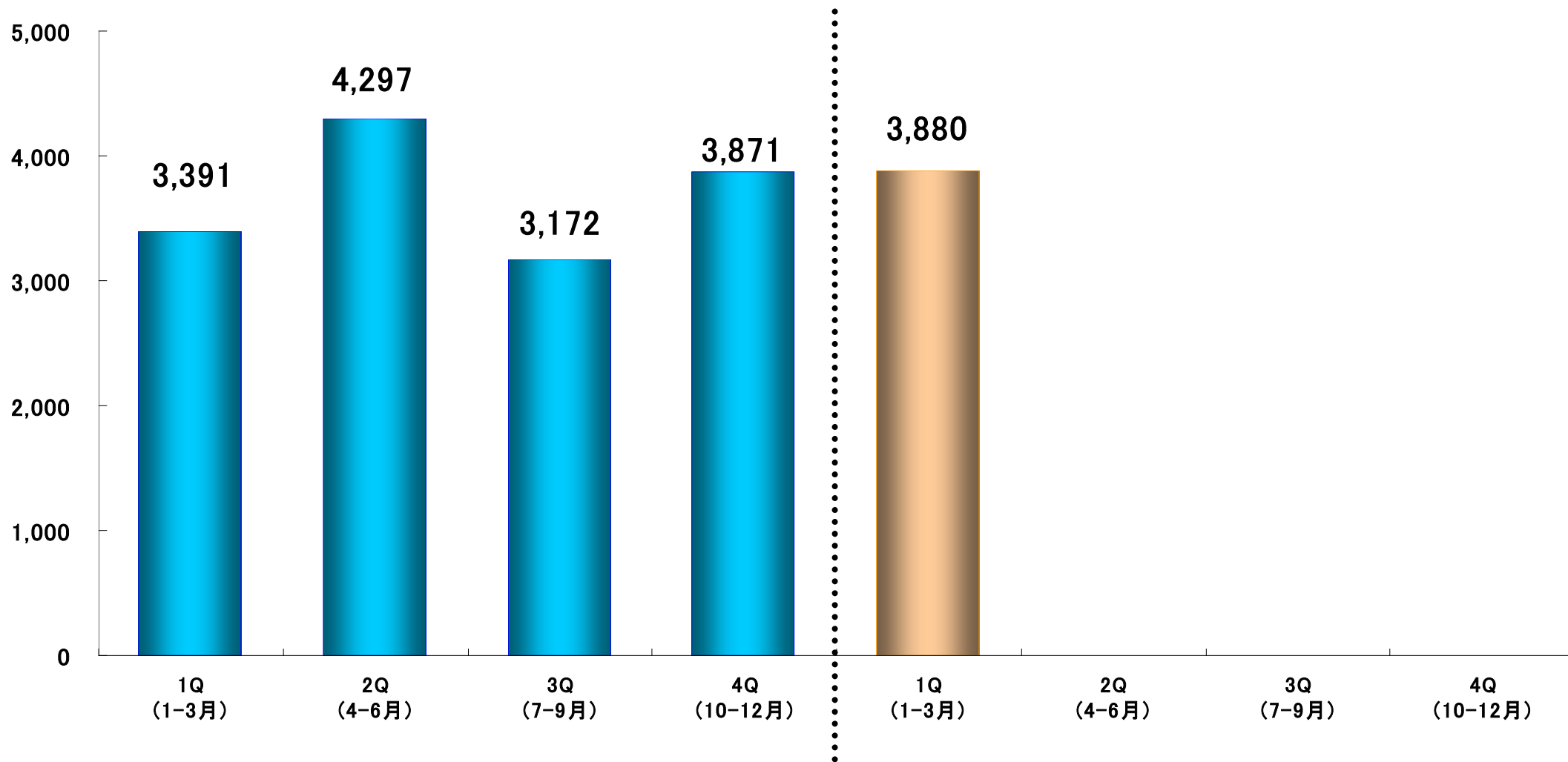
[連結]四半期売上高の推移

CYBERNET

単位：百万円

調整後13.12

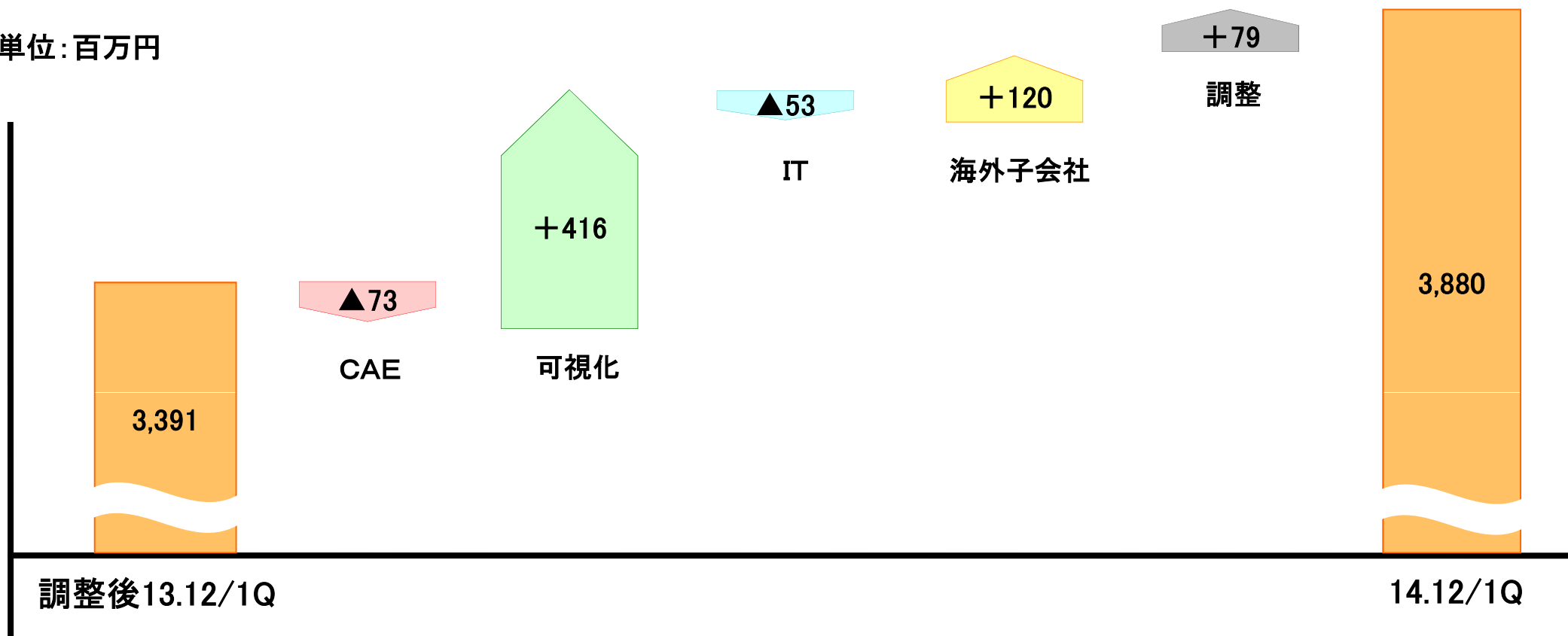
14.12



[連結]事業別売上高の増減要因(調整後前期比較)

CYBERNET

単位:百万円

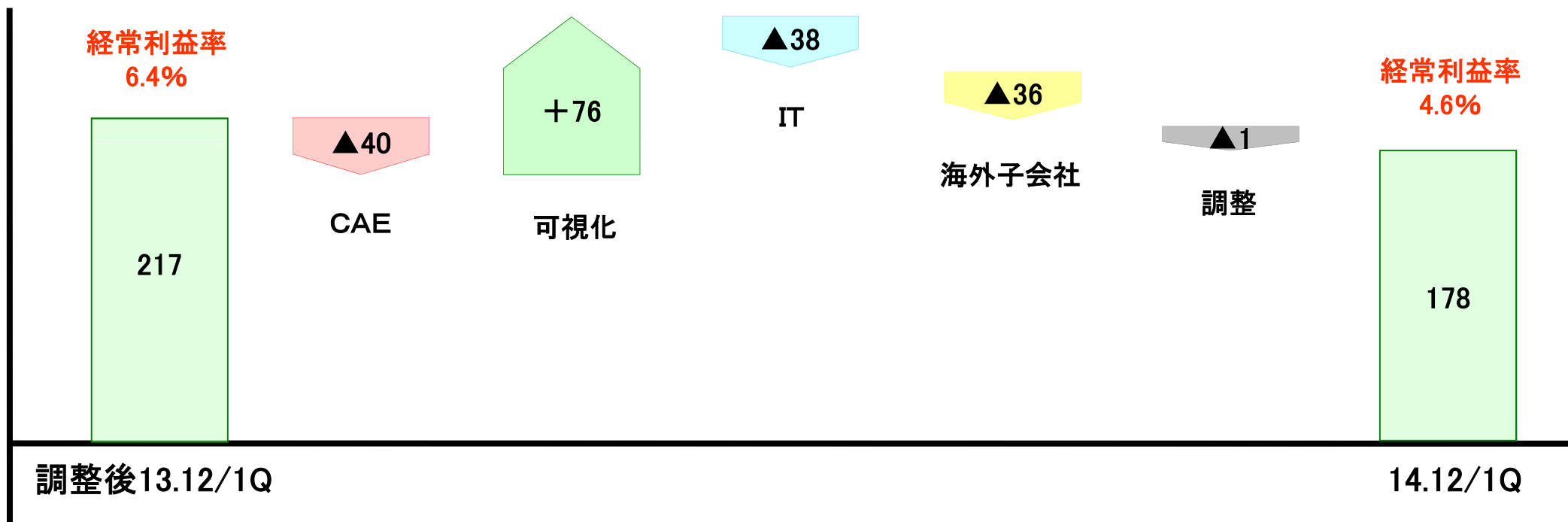


- 注) 上記数値は、調整後の前期売上高に対する事業別の増減額となります。また、各事業の分類は以下となります。
- ・ CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。(汎用可視化ビジネス除く)
 - ・ 可視化とは、個別における汎用可視化ビジネスとなります。
 - ・ ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
 - ・ 海外子会社とは、連結対象子会社(欧米の開発・販売子会社3社、中国販売子会社1社)の合計数値となります。
 - ・ 調整とは、連結調整となります。

[連結]事業別経常利益の増減要因(調整後前期比較)

CYBERNET

単位:百万円



注) 上記数値は、調整後の前期経常利益に対する事業別の増減額となります。
各事業の分類は前ページと同様となります。

CAEソリューションサービス

機 械 系	新規ライセンス販売は自動車業界及び機械製造業界を中心として好調に推移。 保守契約の更新は低調に推移。 エンジニアリングサービスは好調に推移。
光 学 ・ 照 明 系	照明設計解析ソフトウェアは、自動車業界での新規ライセンス販売及び保守契約の更新が好調に推移。 光学設計解析ソフトウェアは、保守契約の更新は堅調、新規ライセンス販売が低調に推移。 前期まで販売していた光学測定機器ビジネスの終了に伴い売上高は減少推移。
回 路 設 計 系	主力EDAソフトウェアの新規ライセンス販売は好調に推移、保守契約の更新は堅調に推移。 PCB(プリント基板)及びLSIのライセンス販売は低調に推移。
数 値 ・ 制 御 系	エンジニアリングサービスは、検収・案件化が当第2四半期以降となるため、低調に推移。 複合領域物理モデリング環境は、保守契約の更新及び新規ライセンス販売は好調に推移。
新 規 ・ そ の 他	イノベーション支援ソフトウェアと3次元モデラーは、新規ライセンス販売が好調に推移。 解析プロセス統合/最適化CAEソフトウェアは、新規ライセンス販売が好調に推移。
可 視 化 系	汎用可視化処理関連ビジネスは、大規模可視化装置及びシステム導入の大型案件により、好調に推移。 AR(Augmented Reality: 拡張現実)及びVR(Virtual Reality: 仮想現実)ビジネスは、VRシステム納入等により好調に推移。

ITソリューションサービス

ディスク暗号化ソフトウェアは、Windows XPのサポート終了に伴う端末の入れ替えなどで需要はありましたが、大型案件がなく、軟調に推移。
主力商品である大手開発ベンダのセキュリティ関連ソリューションは、保守契約の更新が堅調も新規ライセンス販売が低調に推移。

[個別]応用分野別売上高

CYBERNET

<第1四半期>

(単位:百万円)

	調整後13.12/1Q		14.12/1Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
機械系	951	31.3%	973	29.2%	+ 22	102.3%
光学・照明系	863	28.4%	766	23.0%	▲ 97	88.8%
回路設計系	262	8.6%	246	7.4%	▲ 15	94.1%
数値・制御系	193	6.4%	173	5.2%	▲ 20	89.5%
新規及びその他のCAE	144	4.8%	184	5.5%	+ 40	127.6%
可視化系	175	5.8%	588	17.7%	+ 413	335.1%
ITソリューション	453	14.9%	400	12.0%	▲ 53	88.3%
合計	3,044	100.0%	3,333	100.0%	+ 289	109.5%

[個別]業種別売上高

CYBERNET

<第1四半期>

(単位:百万円)

	調整後13.12/1Q		14.12/1Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	1,042	34.2%	909	27.3%	▲ 132	87.3%
機械・精密機器	441	14.5%	522	15.7%	+ 80	118.2%
輸送用機器	339	11.1%	378	11.4%	+ 39	111.6%
その他製造業	331	10.9%	306	9.2%	▲ 24	92.5%
教育・官公庁	413	13.6%	767	23.0%	+ 353	185.5%
情報・通信	185	6.1%	132	4.0%	▲ 52	71.6%
その他	291	9.6%	317	9.5%	+ 26	108.9%
合計	3,044	100.0%	3,333	100.0%	+ 289	109.5%

[個別]ライセンス契約別売上高

CYBERNET

<第1四半期>

(単位:百万円)

	調整後13.12/1Q		14.12/1Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	1,162	44.6%	1,220	45.7%	+ 57	104.9%
更新契約	1,447	55.4%	1,448	54.3%	+ 1	100.1%
合計	2,609	100.0%	2,669	100.0%	+ 59	102.3%

	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatix, L.L.C.	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO.,LTD.	CYBERNET SYSTEMS KOREA CO.,LTD.
	カナダ	ベルギー	米国	中国	韓国
売上前年比 (現地通貨ベース)	120.3%	100.8%	128.6%	58.1%	当期より連結対象
売上前年比 (円ベース)	128.2%	120.8%	149.6%	69.4%	
状況	複合領域物理モデルシミュレータの売上がアジア地域で伸長したほか、数式処理ソフトウェア販売も北米地域を中心に順調に推移。	汎用型最適設計支援ツールの販売が、当初予想を下回っているものの、ほぼ前年並みに推移。	3次元公差解析マネジメントツール及び幾何公差設計ツールの販売が好調に推移し、特に欧州地域及びアジア地域において伸長。	前期より販売開始した当社開発の光学測定器ビジネスの立ち上がりが遅れており、低調に推移。	韓国大手企業に対する、複合領域物理モデルシミュレータ及び数式処理ソフトウェア販売ビジネスに注力。

中期経営戦略及び2014年12月期 業績予想

企業ビジョン: First Contact Company ~お客様・パートナーが、最初に相談する企業でありたい~

経営戦略

1. 新しい価値を持つ当社独自のソリューションの開発と提供
2. システムレベル(1D)・シミュレーション市場の創造と拡大
3. 顧客との深いコミュニケーション機会の創出により、多様なニーズの把握とその対応強化
4. 当社グループ製品及びソリューションの海外展開の加速化



重点施策

- ① コ・シミュレーション環境の整備によるマルチドメインソリューションの加速
- ② MapleSimのグローバル市場への浸透加速化
- ③ 自動車業界にフォーカスした多面的ソリューションビジネスの拡張
- ④ 販売代理店及び協業会社とのパートナーシップ強化

システムレベル(1D)・シミュレーションとは

CYBERNET

新製品開発の上流段階において、新製品に求められる価値や機能といった情報だけで、全体を検証し、新製品の品質向上、開発期間の短縮を図る手法

最上流

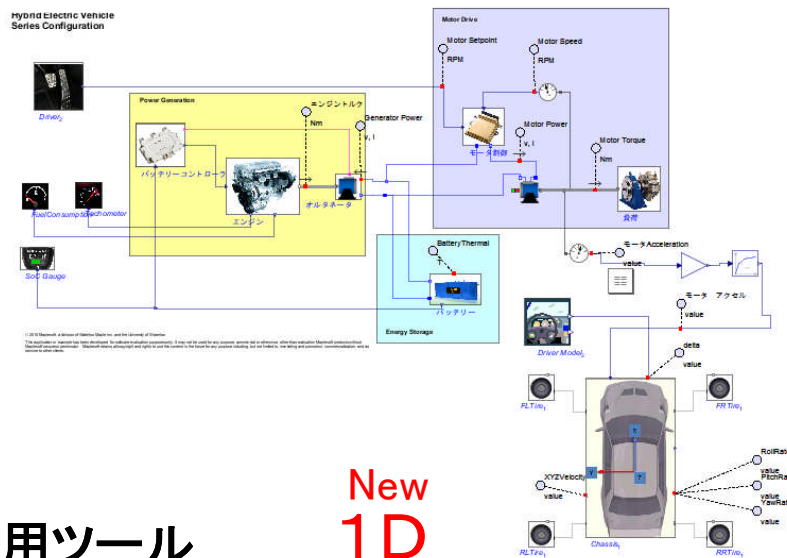
下流

概念設計

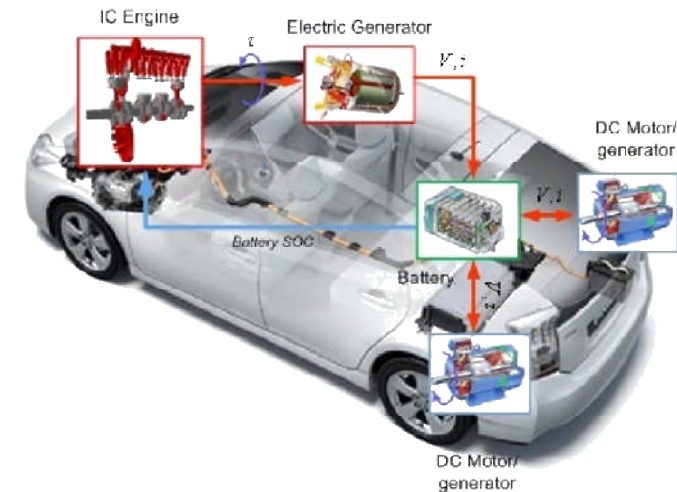
詳細設計

新製品等の仕様やコンセプトを決める工程

各機能毎、個別に詳細設計し、検証する工程



連携



3 D C A D
3 D C A E

使用ツール

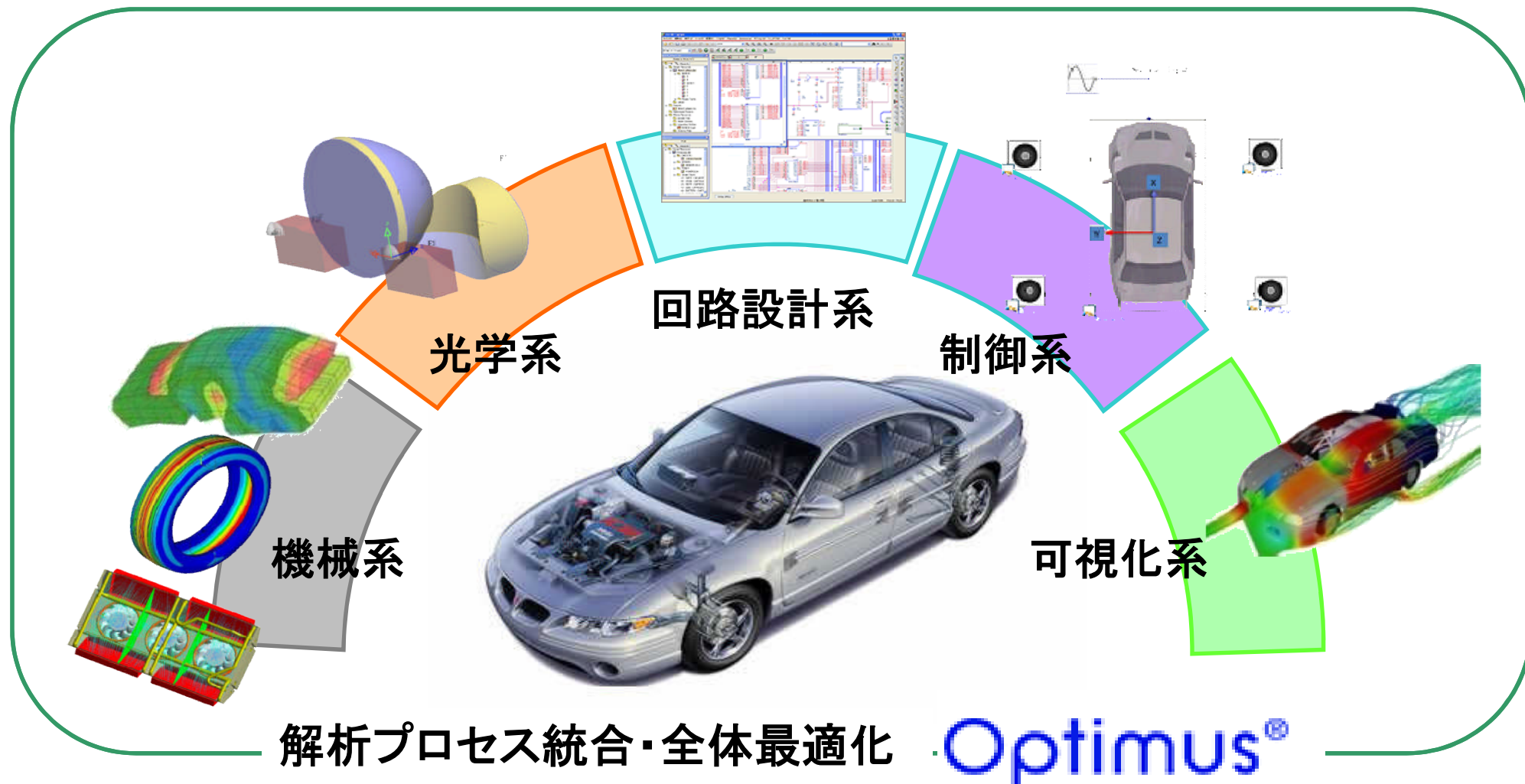
New
1D

MapleSim

マルチドメインソリューションとは

CYBERNET

個別の領域ではなく、複数の領域にまたがる様々な現象を同時、または連続的に解析・シミュレーションすること



決算期(事業年度の末日)の変更について

- ◆ 本資料内の**調整後13.12**とは、2014年度通期業績に対して、同じ条件で比較を行うため、比較対象期間を同じ期間に置き換えて算出した数値となります。

■ 13.12(2013年12月期)

サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社

2013年 1~3月	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月
	1Q	2Q	3Q
1Q	2Q	3Q	

■ 調整後13.12

サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社

2013年 1~3月	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月
1Q	2Q	3Q	4Q
1Q	2Q	3Q	4Q



比較対象期間が同じ

■ 14.12(2014年12月期)

サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社

2014年 1~3月	2014年 4~6月	2014年 7~9月	2014年 10~12月
1Q	2Q	3Q	4Q
1Q	2Q	3Q	4Q

[連結]14.12Eの業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間				通期			
	14.12E/2Q 累計 予想	調整後 13.12/2Q 累計	前同差	前同比	14.12E 予想	調整後 13.12	前期差	前期比
売上高	8,370	7,689	680	108.9%	16,000	14,732	1,267	108.6%
売上総利益	3,719	3,282	436	113.3%	7,152	6,667	485	107.3%
売上総利益率	44.4%	42.7%	+1.7P		44.7%	45.3%	▲0.6P	
営業利益	680	511	168	132.8%	1,000	785	214	127.2%
営業利益率	8.1%	6.7%	+1.5P		6.3%	5.3%	+0.9P	
経常利益	729	650	79	112.3%	1,100	1,031	68	106.6%
経常利益率	8.7%	8.5%	+0.3P		6.9%	7.0%	▲0.1P	
当期純利益	375	364	11	103.1%	600	541	58	110.9%
当期純利益率	4.5%	4.7%	▲0.3P		3.8%	3.7%	+0.1P	

業績予想について

※P:ポイント

14.12の期初業績予想における為替レートは104円/USDを想定したものであります。

[連結]14.12Eの配当予想

CYBERNET

(単位:円)

	13.12	14.12E		
	合計(実績)	第2四半期末(予想) 基準日(2014年6月30日)	期末(予想) 基準日(2014年12月31日)	合計(予想)
1株当たり配当額	10.40	5.60	5.60	11.20
1株当たり当期純利益	10.78	—	—	19.26
配当性向	96.5%	—	—	58.2%
(参考)純資産配当率	2.4%	—	—	2.5%

当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、上記の13.12(2013年12月期)の数値は、2013年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当額及び1株当たり当期純利益を算定しております。



参考資料

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

会社概況(2014年3月31日現在)

CYBERNET

- ◆ 名称 : サイバネットシステム株式会社 (東証第一部 4312)
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本社 : 東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ 拠点 : 西日本支社(大阪)、中部支社(名古屋)
- ◆ 設立 : 1985年4月17日
- ◆ 資本金 : 995百万円
- ◆ 社員数 : 連結 544名
個別 342名
- ◆ 事業内容 : CAEソリューション及びITソリューションサービスの提供、
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子会社 : 連結 WATERLOO MAPLE INC. (カナダ)
Noesis Solutions NV (ベルギー)
CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
Sigmetrix, L. L. C. (米国)
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC. (特定目的会社)
Cybernet Systems Holdings U. S. Inc. (特定目的会社)
CYBERNET SYSTEMS KOREA CO., LTD. (韓国)
非連結 CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO., LTD. (台湾)

CAEとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験すること。

[個別]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12/1Q 実績	調整後 13.12/1Q	前同差	前同比	14.12/1Q 計画	計画差	計画比
売上高	3,333	3,044	+289	109.5%	3,163	+170	105.4%
売上総利益	1,271	1,278	▲7	99.4%	1,333	▲61	95.4%
営業利益	328	386	▲58	84.9%	358	▲30	91.5%
営業利益率	9.8%	12.7%	▲2.8P		11.3%	▲1.5P	
経常利益	365	450	▲84	81.2%	362	+2	100.8%
経常利益率	11.0%	14.8%	▲3.8P		11.5%	▲0.5P	
当期純利益	215	290	▲75	74.1%	225	▲9	95.6%
当期純利益率	6.5%	9.5%	▲3.1P		7.1%	▲0.7P	

※P:ポイント

[個別]14.12Eの業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	第2四半期累計期間				通期			
	14.12E/2Q 累計 予想	調整後 13.12/2Q 累計	前同差	前同比	14.12E 予想	調整後 13.12	前期差	前期比
売上高	7,113	6,785	327	104.8%	12,800	11,981	818	106.8%
売上総利益	3,000	2,866	133	104.7%	5,293	4,978	315	106.3%
売上総利益率	42.2%	42.3%	▲0.1P		41.4%	41.5%	▲0.2P	
営業利益	992	898	93	110.5%	1,276	1,049	226	121.6%
営業利益率	13.9%	13.2%	+0.7P		10.0%	8.8%	+1.2P	
経常利益	1,000	994	6	100.7%	1,293	1,207	85	107.1%
経常利益率	14.1%	14.6%	▲0.6P		10.1%	10.1%	+0.0P	
当期純利益	617	630	▲12	98.0%	799	725	74	110.2%
当期純利益率	8.7%	9.3%	▲0.6P		6.2%	6.1%	+0.2P	

業績予想について

※P:ポイント

14.12の期初業績予想における為替レートは104円/USDを想定したものであります。

■ 広報室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3
TEL	03-5297-3066
FAX	03-5297-3609
E-MAIL	irquery@cybernet.co.jp
Webサイト	http://www.cybernet.jp/

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。

記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET